

求める児童像

よく考える子ども
仲間を大切にする子ども
ねばり強い子ども

船っ子
FUNAKKO



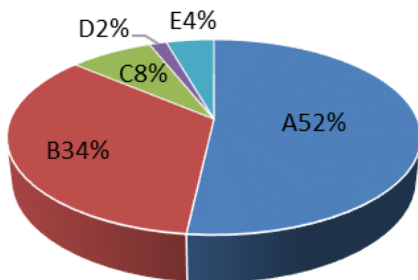
平成 29 年 9 月 13 日
枚方市立船橋小学校
校長通信 第 7 号

授業アンケートについて

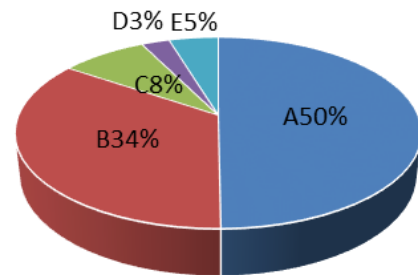
一学期に記入いただいた「授業アンケート」の結果についてお知らせします。概ね良い評価を頂いていますが、昨年度と比べると全観点についてAの割合が若干減り、Eが増えています。今回の結果を参考とし、さらなる授業改善に努めながら、児童にとってわかりやすく興味や関心のもてる、たのしい授業をめざします。なお、「学校教育自己診断」は、今学期末に行う予定です

評価の観点	アンケート項目「お子様は・・・」
興味・関心・意欲の向上	授業の内容に興味や関心や意欲をもつようになっていきますか？
学習内容の取得	授業の内容が分かるようになっていきますか？
個の状況に応じた支援	授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらえていますか？
望ましい学習集団の育成	授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか？
児童への適切な評価	授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか？

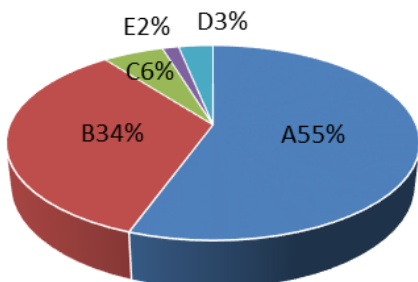
興味・関心・意欲の向上



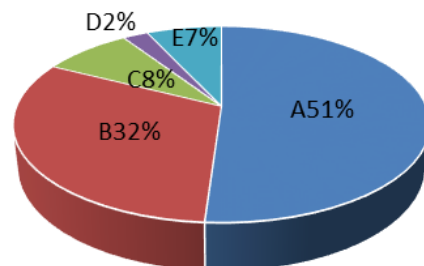
望ましい学級集団の育成



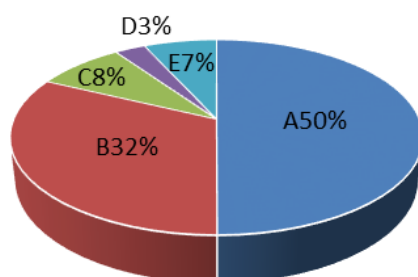
学習内容の習得



児童への適切な評価



個の状況に応じた支援



- A : そう思う
- B : だいたいそう思う
- C : あまり思わない
- D : 思わない
- E : 分からない

夏休み作品展

8/28～/30の3日間、体育館で“夏休み作品展”を開催したところ、多くの方々に見に来て頂き、たいへんありがとうございました。(特に、30日は引き渡し訓練と重なり、会場内は満員でした。)

今年も沢山の夏休みの作品を見せてもらいました。いろんな工夫をしてコツコツ作りあげた作品や、初めてのミシンに挑戦した作品、ダンボールで作った作品、それぞれの学年らしさが出ている作品等々。ちなみに、孫の作品は、毎日少しずつ思いついたことを形にしていって、一月近くかかりました。長い夏休みだから出来たのですね。嵐山まで自転車でいった子どもや、おばあちゃんに教わって草木染をした子ども、それぞれの夏がうかがい知れる作品展でした。(児童の祖母)



引渡し訓練へのご参加、ありがとうございます。

8月30日(水)にPTAの“お迎えデー”とタイアップし、“引渡し訓練”を行いました。本校では初めての試みでしたが、大きな混乱もなくスムーズに行うことができました。当日は保護者には下足のまま廊下に並んで頂き、教室入り口で担任がお名前を確認してからお子さんを引き取り、一緒に下校していただきました。PTAの安全委員の方々にご協力いただきたいへん助かりました。(次回訓練を行う時は、土曜参観などより多くの保護者が来校しやすい日を選ぶようにしたいと考えます。)



引渡し訓練とは・・・

稼業中に大規模災害(大地震や集中豪雨、また凶悪犯罪等)が発生し、児童だけで下校させられない場合を想定し、事前に登録された方に子どもを学校まで迎えに来ていただく訓練。児童の安全確保と保護者との連携をスムーズに行い、より安全で安心できる学校をめざします。

RENNONのひとり言・・・

陸上男子の桐生祥秀くんが、100mで9秒98の日本記録を出して、日本人初の10秒の壁を突破したね。陸上100mはオリンピックでも花形種目で、10秒を切る事は日本人の長年の夢だったんだ。1968年にアメリカのジム・ハインズさんという人が世界で初めて10秒を切ったのが1968年のことだから、実に49年ぶりに悲願の達成となったよ。

トラックで雄たけびを挙げた桐生くんは、滋賀県彦根市の出身で小学生時代はサッカーをしていたんだって。中学に進学してから陸上を始めたんだけど、腰痛や肉離れに悩まされ続けたそうだよ。高校は京都の洛南高校に入学し、インターハイで大会記録を出したり、国体で3連覇したりしてメキメキと力をつけて、東洋大学に進学したときには日本で最も速く走れる選手として周りの期待が高まったんだ。昨年のリオデジャネイロ・オリンピックにも出場し、400mリレーで銀メダルを獲得した事は記憶に新しいね。そんな彼が、今年6月に行われた日本陸上競技選手権大会男子100m決勝で、サニブラウンさんや多田修平くんに敗れ、世界陸上への個人種目での代表入りを逃してしまったんだけど、きっとその悔しさがバネとなって今回の記録達成につながったんだと思うよ。

「『もういいや、諦めよう』と思ったら負けていた。『一番は俺だ』という気持ちをずっと持っていた。」レース後に語っているよ。「今日という日は忘れない。僕は記憶を作っていくランナーになりたい。」21歳の桐生くんにとって、今回記録を出した事は、まだまだ通過点なんだね。僕も見習わなくちゃ! ワンワン

